



「げんここ地域福祉通信」は、地域福祉情報をお伝えするコーナーです。

社協はげんきなこころ応援します

# げんここ地域福祉通信

Vol.49

伊勢市 福祉総合支援センターより  
☎21-5712 FAX 21-5555

伊勢市社会福祉協議会

|                                |                      |
|--------------------------------|----------------------|
| 生活サポートセンターあゆみ(八日市場町13-1)       | ☎63-5224 FAX 27-2412 |
| [福祉健康センター・1階]                  | ☎63-5334 FAX 27-2415 |
| 地域福祉係                          | ☎27-2425 FAX 27-2412 |
| 中部支所(八日市場町13-1)                | ☎43-5551 FAX 43-4427 |
| 東部支所(二見町茶屋456-2)               | ☎27-0509 FAX 27-0570 |
| 西部支所(小俣町元町536)                 | ☎22-6617 FAX 22-6604 |
| 北部支所(御園町長屋2767)                | ☎63-6370 FAX 65-6121 |
| 伊勢市ボランティアセンター・げんここ一む(小木町曾祢538) |                      |
| (イオンタウン伊勢ラパーク・1階)              |                      |

伊勢社協 検索 <https://ise-shakyo.jp>

## 福祉体験学習で思いやりのきっかけづくりをしませんか?

### 心のユニバーサルデザインでみんなが笑顔に

福祉体験学習には、ユニバーサルデザインを含む福祉の話だけでなく、車いすの操作方法や高齢者の介助方法を学んだり、当事者の講話を聞いたりするプログラムがあります。

高齢者や障がいのある状態を体験することで「相手のために自分は何ができるか」、「地域の仲間として助け合うことの大切さ」などを考え、お互いを尊重し、自分にできることでサポートする、という思いやりに気付くきっかけとなっています。

#### ユニバーサルデザインのお話



- ユニバーサルデザインは人を幸せにするデザイン。
- いろいろな工夫がしてあることが分かった。
- 一人ひとりの心づかいが大切なのが分かった。

#### 福祉車両の使い方講座



#### 車いす操作と介助の体験



- 車いすの操作が思ったより難しかった。
- いつもより目線が低くなって、高い所の物を取るのは大変だと思った。

#### 高齢者疑似体験



- 高齢者疑似体験では足が重くて大変だった。
- 誘導時、相手の足元に注意した。
- 高齢者になったとき、助けてくれた人に「ありがとう」と言いたい。



#### 障がいの理解



- 目が見えないから、耳で音を拾うことや足の裏の感覚を頼りにして情報を拾うことが大切だと分かった。
- アイマスク体験でどの方向を向いているかわからなくて怖かった。
- 手話も知りたい。
- いろんな人が助け合いをしている。障がいがある人を助けたい。

#### 当事者による講話

視覚障がいがある鈴木さんのメッセージに児童は真剣に耳を傾けていました。



点字で本を読んでくれました。

寄り添ってくれる人がいることが、うれしいです。皆さんが目の前にいたとしても、声をかけてもらわないとわかりません。『おはよう』『こんにちは』『困りごとはないですか』など声を掛けてくれるとうれしいです。



- 「何か手伝えることはないですか?」と声掛けしたい。
- 講話を聞いて視覚障がいのある人を助けたいと思った。

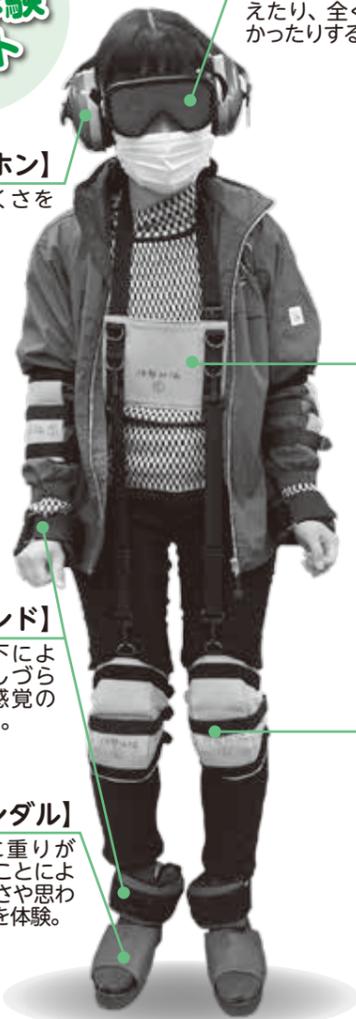
#### 高齢者疑似体験セット

#### 【視覚ゴーグル】

見える範囲が狭くなったたり、ぼやけて見えたり、全く見えなかったりする体験。

#### 【ヘッドホン】

聞こえにくさを体験。



#### 【重りバンド】

筋力の低下による動作のしづらさや平衡感覚の変化を体験。

#### 【重りサンダル】

サンダルに重りが入っていることにより歩きづらさや思わぬつまづきを体験。

#### 【背曲げ用エプロン】 【ひじ・ひざサポーター】

前傾状態とひじ・ひざ関節の固まりによる曲げ伸ばしのしづらさを体験。

### ユニバーサルデザインとは

障がいの有無・年齢・性別・人種などにかかわらず、あらかじめ全ての人々が利用しやすいようにデザインする考え方。



#### 参考

バリアフリー  
高齢者や障がいがある人のために、後から生活の支障となっているバリアを取り除くこと。  
※目的や対象が違ふ。



自動で水が出る蛇口。握力の弱い人や手に障がいがある人も簡単に利用できます。

### 福祉体験用具、無料で貸し出しできます



福祉体験学習では、皆さんから協力いただいた赤い羽根共同募金配分金で購入した車いすや高齢者疑似体験セット・視覚ゴーグルなどを活用しています。

ぜひ学校で、職場で、地域の集まりで、福祉体験してみませんか?

詳しくは、上記各支所または伊勢市ボランティアセンターにお問い合わせください。

